

法蔵館文庫

好評発売中!

伝 評 J・G・フレイザー

——その生涯と業績

〔上・下〕

口バート・アッカーマン(著)、小松和彦(監修)、玉井 暁(監訳)

大著「金枝篇」で世界に衝撃を与えた人類学者の画期的評伝。研究一筋の風変わりな日常から、出版をめぐる人間模様、悪妻とも評された妻との結婚生活まで。未公開書簡や日記も満載。英国ベストセラーの邦訳。

上下各一、七〇〇円＋税

アニミズム時代

岩田慶治(著)、松本博之(解説)

アニミズムの根幹を自然と人間との直接的対応におきかえ、その発端の姿を描きだす。岩田アニミズム論の到達点を示す名著を文庫化。

一、二〇〇円＋税

補いざなぎ流 祭文と儀礼

斎藤英喜(著)

高知県旧物部村に伝わる民間信仰「いざなぎ流」。祭文・法文・神楽、そして式王子の儀礼現場を解明。し、陰陽道、民俗信仰研究の現在をアップデートする。

一、五〇〇円＋税

法蔵館

室町時代の祇園祭

河内将芳(著)

一、八〇〇円＋税

中止や延期を何度も乗り越えた、史上最も盛大な室町期の祇園祭に注目し、公武権力が京都に併存した室町期独自の特徴を解明。



「ぞめき」の時空間と如来教

——近世後期の救済論的転回

石原 和(著)

四、五〇〇円＋税

「身体」から「心」へ。一九世紀初頭の名古屋を舞台に、如来教、民間信仰、真宗教学を巻き込んだ救済論のパラダイム転換を解明する。

